

昭和のくらし博物館 夏の特別展

「小泉家に残る戦争」展

2023年8月4日(金)～8月27日(日) 昭和のくらし博物館 茶の間・談話室ほか

戦争は相手だけでなく自分たちの命もくらしもめっちゃめっちゃにしてしまうものです。そうしないために私たちはどうしたらいいか、よく考えなければなりません。小泉家は前の戦争で、子どもの集団疎開、家の強制疎開、空襲による被災と、戦争による災禍を十分に受けました。このため戦争を物語る資料はわずかしかなかったかもしれませんが、焼夷弾、防毒マスク、千人針、国民服、配給切符など、寄贈された資料とあわせて、毎年8月には平和のための戦争展を開催しています。どの資料も、戦争は人々のささやかな日常と幸せを奪ういかに愚かしいものかを語っています。どうぞこれらの声に耳を傾けてください。



会期中は、館内全体が戦時下のくらしの展示となります



長女(小学5年)が集団疎開に出発する日、写真館で撮った小泉家の家族写真(昭和19年8月15日)

<家庭に残っていませんか？ 戦争の記憶>

戦後78年経ち、戦争を語るモノが少なくなってきました。知らずに処分される資料も増えています。復員の際に戦地から持ち帰ったもの、戦後に家で再利用したもの、戦中のスクラップブックなど、家庭に残るものがあればご寄贈をお待ちしています。

*所蔵済みや、傷みの大きなもの等お受け取りできない場合もあります。お手数ですがまずは写真等でご相談下さい

同時開催 第16回企画展 「昭和はこんなだった」展

プラスチックやビニールがなかった時代、家でお産をしていた時代は、いったいどういう生活だったのでしょうか？このたび発刊した『昭和のくらしと道具図鑑』の衣・食・住・病気・衛生・出産・戦争中のくらし・年中行事・子どもの遊び・娯楽の中から、一端を取り出して紹介します。戦前から昭和30年代頃、すなわち工業化、高度成長期以前と今が、いかに大きく変わったのか。決して便利ではなかったけれど、自然に近く、つつましかったくらしを見つめ直します。



昭和のくらし博物館 (8/28～9/7は臨時休館です)

開館日：金・土・日・祝日

開館時間：午前10:00～午後5:00 *お盆中も上記の通り開館します

入館料：大人 500円 小学生～高校生 300円

〒146-0084 東京都大田区南久が原2-26-19

<http://www.showanokurashi.com>

mail@showanokurashi.com

tel/fax 03-3750-1808

(電話でのお問合せは開館日の開館時間中をお願いします)

